

## 評価細目の第三者評価結果

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### Ⅰ-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>3つの保育理念とそれを踏まえた保育方針を明文化し、それに基づく分かりやすい保育目標を設定しており、園の方向性が明確に示されている。理念や方針は職員会議やカリキュラム研修を通して周知し、職員室への掲示などで日常的に共有している。利用者には、園内掲示、パンフレット、ホームページ、保護者会総会や行事での説明など多様な方法で行っている。パンフレット、ホームページの活用や園内掲示に加え、入園式後や途中入園時に保護者へSNSでの配信等を通じて、周知している。</p>		
改善できる点／改善方法：		

#### Ⅰ-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育の制度や事業全体動向等の把握については、市の子ども・子育て支援事業計画や各種研修への参加等を通して情報収集に努めている。また地域の福祉ニーズについては、併設されている子育て支援センターの相談事業、園庭開放等を通して地域の子育てニーズの把握に努めている。多様化していくニーズや利用者の推移を把握し、園運営に活かしている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
3	Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>園の全体構想及び研究構想については、子どもの実態を踏まえて全職員で振り返りを行い、運営・人材育成・保育の質・施設整備・地域課題などの経営課題を整理し、改善に向けた取組を計画的に進めている。併せて、予算の適正執行の観点から、消耗品や光熱水費の節減等、コスト管理を意識しつつ、快適で安全な保育環境を維持するため、職員間で共通理解を図っている。</p>		

改善できる点／改善方法：
--------------

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>中・長期計画については、市の子ども・子育て支援事業計画を踏まえ、園の理念・基本方針及び瑞浪市教育保育研究会の研究構想に沿って策定されている。ICT化の推進や保育の質の向上等、中・長期的ビジョンが明確化され、計画的に取り組む体制が整えられている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p> <p>中・長期計画については、園運営の方向性を示すビジョンは示されているものの、経営全体を見通した計画としては、なお整理・体系化の余地がある。今後、内容がさらに充実し、より一貫した計画として整えられていくことが期待される。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	<b>a</b> ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>職員会議を通じて中・長期計画の内容を踏まえた事業を検討し、次年度に向けた単年度の事業計画を策定している。事業終了後には職員会等で成果や課題を共有し、改善に向けた振り返りを行っている。保護者については、行事後のアンケートを活用して子どもの育ちを共有し、次年度の計画に反映している。事業計画は、研修計画や行事計画等、各種計画が整備されている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	<b>a</b> ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事業計画は、子どもの最善の利益と育ちにつながるよう、前年度の振り返りを踏まえて職員会議等で検討し、組織的に策定している。年度当初には職員会議で全職員への共有を図るとともに、各種会議での説明を通して理解の浸透に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	<b>a</b> ・b・c
改善できる点／改善方法：		

保護者には、入園式や行事等の機会を捉えて配布して説明する等、各計画についてわかりやすく保護者への周知を図っている。また、保護者アンケートを活用し、得られた意見を次年度の計画に反映している。

## I-4 保育の質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	Ⓐ・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>自己評価チェックリストの活用、岐阜県福祉サービス第三者評価の受審、園内公開保育やエピソード研究等を通して、PDCAを意識した保育の質の向上に向けた取組が進められている。日々の保育日誌をもとに成果と課題を共有し、職員間で振り返りを行っている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	Ⓐ・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>自己評価や保護者アンケートによる評価、岐阜県福祉サービス第三者評価、評議員会での評価をもとに課題を整理し、職員会議で検討した上で「改善実施計画」を作成している。改善内容は文章化して保護者へ配信し、透明性のある運営と改善への姿勢を示している。</p>		
改善できる点/改善方法：		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>園長は年度当初の会議や個別面談を通して「経営構想」を丁寧に説明し、職務分担表により各職員の役割を分かりやすく示している。自身の思いや方針を文章化して共有するほか、研修等から得た最新の安全・衛生・保育動向を職員に還元し、責任ある立場として組織運営を支えている。</p>		
改善できる点/改善方法：		

11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・ <b>②</b> ・c
<p>良い点／工夫されている点：          遵守法令に関する各種研修会に積極的に参加し、個人情報保護、ハラスメント等に関する研修内容を職員会議や研修会等で職員に共有し、コンプライアンス意識の向上に努めている。働き方改革にも関心を持ち、最新の動向を学び続けている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：          園のコンプライアンス体制が重要なキーワードになりつつある現在、今後とも、法令基礎から、法令全般を体系的に学ぶ機会の拡充に向けた取り組みに期待したい。</p>		
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	<b>①</b> ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：          園長自らが現場に入り、週案検討会やカリキュラム研究、公開保育を充実させることで、職員が自ら課題を見つけ、改善につなげられるよう具体的な助言を行っている。また、全職員の学びを支えるため、研修時間の確保にも力を入れている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
13	II-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	<b>①</b> ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：          人材の適正配置やICT化の推進による事務の効率化、書類様式の統一、経費節減等の業務改善を推進するとともに職員に周知を図り、予算の適正な執行に向け、指導力を発揮している。園運営の実効性を高める取り組みが継続的に行われている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

## II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	<b>①</b> ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：          人事については市に裁量権があるが、制度動向を踏まえ、地域の現状に即した園の人員体制の方向性を丁寧に市担当課へ伝え、適切な職員配置を求めている。また、加配保育士をはじめ、適切な人材要請を行うとともに、職員育成・定着の体制強化に向けて取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：  人事考課については、市の客観的な人事評価基準に基づき、評価を実施している。目標管理制度を採り入れ、年3回の面談（目標設定・期中・達成度の確認）を実施し、職員との面接の中で意見聴取を行いながら、業務評価のフィードバックを行い、職員の資質向上を図っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：  職員の有給消化率や時間外労働については定期的にチェックし、積極的な休暇取得を促している。また、定期的な面談を通して職員の意向や意見を聞き取る等、相談しやすい雰囲気づくりに努めるとともに、ワーク・ライフ・バランスに配慮した適切な就業環境作りに努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：  年度当初に期待する職員像を示すとともに、目標管理シートを活用し、期首の目標設定、期中、期末の面談を経て、目標達成状況の評価を行う取り組みを行っている。それと同時に、職員がやりがいを感じながら成長できるよう支援している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：  園の研究方針構想をもとに、園外研修、園内研修・エピソード研、オンライン研修、公開保育など、様々な職員研修の計画を立てている。園外研修に参加した場合は、レポート提出や職員会議での報告を通して学びを全職員に共有し、次の研修内容へと活かしている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉑・b・c

<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>新人向けの職員研修や、職員一人ひとりの業務に着目した研修、階層別研修等を実施し、研修の機会を充実させている。新任職員には、市のOJTガイドラインに沿って主任が中心となり、丁寧な指導を行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p>		
20	<p>II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p>	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>マニュアルを整備し、公的施設としての責任を持って実習生を受け入れている。保育・教育実習に加え、小児看護実習も受け入れており、養成校と連携し、事前のオリエンテーションを実施し、実習プログラムに沿った指導を行い、実習後のカンファレンスを開催する等、積極的に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
<p>II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p>		
21	<p>II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p>	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ホームページで施設概要、サービスの内容等の事業運営に係る情報を幅広く積極的に公開する等、運営の透明性の確保に努めている。また、地域に向けて園の活動を積極的に紹介し、開かれた施設づくりを進めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
22	<p>II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。</p>	a・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>本庁で各種規程を整備し、事務、経理、取引等についてルール化している。本庁から付与された園の予算については適正な執行に努めている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		

### II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
--	--	---------

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	II-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>土岐川沿いでの苗植えや、老人憩いの家「桜寿荘」との交流、園庭開放、併設の子育て支援センターでの未就園児との交流、読み聞かせボランティアの受入れ等、地域の多様な社会資源を活かしながら、広く地域交流に努めている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
24	II-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>ボランティア受け入れマニュアルを整備し、オリエンテーションを行った上で、地域のボランティアや中学生の職場体験、高校生の実習を計画的に受け入れている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	II-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>地域の関連機関（市担当課、保健センター、児童発達支援センター、園医、教育委員会、警察、消防署、地域の小中学校等）との連携関係が密であり、職員間でのネットワークの共有化もできている。また、地域の民生・児童委員等の関係団体と定期的な情報交流を行っている。</p>		
改善できる点/改善方法：		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>園長が子育て支援センター長を兼務している強みを活かし、園と子育て支援センターと連携しつつ、園庭開放、子育て相談事業等を通じて、地域の子育てニーズの把握に取り組んでいる。</p>		
改善できる点/改善方法：		
27	II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	㉑・b・c
<p>良い点/工夫されている点：</p> <p>これからも社会福祉法に規定された社会福祉事業にとどまらない地域貢献活動がますます重要になってくる。地域に開かれた施設として、地域の子育てニーズに応じて、延長保育、園庭開放、相談事業、母親学級、地域交流等に取り組んでいる。</p>		

改善できる点／改善方法：
--------------

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>基本姿勢や理念の中で子どもの人権尊重を明文化し職員に周知し、会議や研修で人権配慮を具体的に伝えている。不適切保育の手引きやセルフチェックを用いて日々の保育を振り返る機会を設け、気になることを話し合える雰囲気づくりにも努めている。エピソード研では子どもの内面に目を向け、尊重と愛情をもって個性を伸ばす関わりを学び合い、障がい児保育でも互いを認め合う姿勢を大切にしている。日常の保育では“いいところみつけ”を通して子どもの良さに目を向け、思いやりや豊かな心が育つよう支援している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>プライバシー保護や虐待防止に関してはマニュアルを整備し、研修を通じて職員に周知徹底を図っている。様々な生活場面（トイレ、シャワー、プール等）においてトイレや着替え場所の遮蔽を徹底するとともに、降園時の伝達内容によっては場所を変えて話す等、心理的なプライバシーにも丁寧に配慮している</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	Ⓐ・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>ホームページで園の内容や取り組みを掲載したり、本庁にパンフレットを配置したりする等、選択に資するよう、分かりやすく工夫して情報提供に努めている。園の見学や入園の問い合わせの要望にも積極的に対応し、園庭開放でも積極的に情報提供を行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		

31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>入園案内等を用いて生活の流れや保育内容を丁寧に説明し、保護者の理解と同意を得ている他、支援が必要な保護者には個別に時間を設けてより詳しい説明と確認を行う等、安心して利用できるよう配慮している。</p>		
改善できる点／改善方法：		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>転園や就学の際には指導要録を送付し、配慮が必要な子どもには保護者の同意を得て「引き継ぎ書」を作成して小学校等と連携し、子どもが新しい環境へスムーズに移行できるよう丁寧なつながり作りを行っている。保育修了後は、相談対応について伝える等、サービスの継続性に配慮した対応を行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取り組んでいる。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保護者アンケートを毎年実施しており、その結果を集計・分析し、園内会議で改善策を検討している。保護者にはアンケート結果や意見、改善策を報告している。また、年2回の個別懇談や随時の保護者面談を実施する等、保護者の声を丁寧に受け止めつつ、利用者満足の上昇に向けた取り組みを行っている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>苦情解決マニュアルを作成し、苦情解決の体制を整備しており、窓口、責任者、第三者委員等について玄関に掲示し、周知に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>送迎時には園長や主任が門に立ち、日常的な挨拶を通して話しやすい雰囲気をつくっている他、相</p>		

<p>談内容に応じて遊戯室などプライバシーが確保できる場所を柔軟に活用し、安心して話せる環境を整えている。意見箱を設置して直接伝えにくい声も受け止められる体制を整え、安心して意見を寄せられる環境づくりに努めるとともに、併設の子育て支援センターでも相談することができる体制を整備している。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
36	<p>Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>日頃から積極的に保護者と関わり、意見を傾聴する姿勢で接することで、気軽に話せるような雰囲気づくりに努めている。寄せられた意見は園長に報告し、組織として迅速に検討・改善を行う体制が整えられており、対応内容は全職員で共有してサービスの質向上につなげている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
<p>Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。</p>		
37	<p>Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>事故につながりやすい場面の各種対応マニュアルを整備し、迅速な対応手順を定めている。また、ヒヤリハット事例を記録し、職員会議等で検討し、事故の発生予防に努めている。遊具の点検や園舎の内外の点検整備を実施し、安全確保・事故防止に取り組んでいる。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
38	<p>Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。</p>	<p>Ⓐ・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>各種感染症対応マニュアル等を整備し、感染症対策研修を実施する等して予防に努めている。保護者には、予防についての注意喚起を行うとともに、流行時にはICTツールや掲示を活用してクラス別の罹患状況を迅速に保護者へ伝える等、安心につながる情報提供を行っている。</p>		
<p>改善できる点／改善方法：</p>		
39	<p>Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。</p>	<p>a・Ⓑ・c</p>
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>地震・火災・風水害等の各災害時に対応した各種マニュアルを整備し、災害時の子どもの安全確保のため、毎月定期的に「命を守る訓練」を実施し、土岐川近接に伴う洪水避難計画や3日分の備蓄食糧を整える等、防災体制の強化に取り組んでいる。</p>		

改善できる点/改善方法：

消火・通報訓練は行っているが、自治会との連携がまだ十分ではなく、今後の強化が期待されているところである。

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	Ⓐ・b・c
良い点/工夫されている点： 保育理念や保育方針、子どもの実態に基づき、教育保育計画、指導計画、月案、週案を作成し、保育実践に当たっている。また、各種マニュアル類を整備し、職員会議等での説明や各種研修を通じて、職員への周知に努め、標準的な保育を安定して実践できる体制を整えている。		
改善できる点/改善方法：		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	Ⓐ・b・c
良い点/工夫されている点： 保育実践の見直しについては、カリキュラム検討会やエピソード研を通して、課題分析を行い、次の実践につないでいる。また、各種マニュアルの定期的な見直しを通して、サービスの標準化に取り組んでいる。		
改善できる点/改善方法：		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	Ⓐ・b・c
良い点/工夫されている点： アセスメントについては、市で統一したアセスメント様式（家庭調査票等）を使用し、定められた手順に従ってアセスメントを行っている。入園後の保育ニーズについては、保護者懇談や送迎時、連絡帳等で把握している。また、アセスメントに基づいて子ども一人ひとりのニーズや課題を明確にし、保護者の意向を踏まえ、指導計画を作成している。		
改善できる点/改善方法：		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	Ⓐ・b・c
良い点/工夫されている点： 指導計画は、カリキュラム研、週案研等でふりかえりを行い、見直しをしている。計画の見直しについては、実践記録、自己評価に基づき課題を明確にし、職員間で課題を共有しながら行っている。		

年度末には、全計画を見直して次年度へつなげており、計画と実践が循環する仕組みができています。		
改善できる点／改善方法：		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>サービス実施の記録については、ICTツールを活用し、保育日誌、児童票、指導要録等に子ども一人ひとりの発達状況や生活状況、子どもの成長と保育の経過等が記録されている。職員間で各種記録の情報共有に努めるとともに、記録の標準化に努めている。</p>		
改善できる点／改善方法：		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉑・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>記録の管理体制については、個人情報保護に関するマニュアルを整え、市の規程に沿って記録の保管・保存・廃棄を適切に実施している。また、毎年、個人情報保護研修やセキュリティ研修を継続的に受講し、全職員が最新の知識を共有しながら、記録の厳格な管理に取り組んでいる。</p>		
改善できる点／改善方法：		

## 評価細目の第三者評価結果 (児童分野 保育所)

### 評価対象Ⅳ 保育内容

#### Ⅳ－１ 全体的な計画の作成

	第三者評価結果
Ⅳ－１－（１） 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>全体的な計画「保育課程」は、市が示す内容を基盤としつつ、園の実態や特色を踏まえて独自性のある計画として整備されている。年度末には、保育に関わる職員が期ごとの振り返りを行い、その結果を次年度の計画に反映させている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

#### Ⅳ－２ 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開

	第三者評価結果
Ⅳ－２－（１） 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>子どもたちが心地良く過ごせるよう、園内にはくつろぎの場や食事・睡眠のためのスペースが適切に整備されており、発達段階に応じた遊びの環境にも工夫が見られる。園庭では、未満児と以上児で遊具や砂場を分けるなど、安全に配慮した環境設定が行われ、子どもたちが伸び伸びと身体を動かせるようにしている。保育室には机や椅子に加えて絨毯スペースが設けられ、子どもたちは自由にくつろいだり遊んだりしながら過ごしている。また、室内環境については、温度・湿度管理、換気、空気清浄機の使用等が適切に行われ、安全に過ごせるよう用具の配置にも細やかな配慮がなされている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－２－（２） 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育者は子ども一人ひとりを肯定的に受け止め、子どもの心に寄り添う支援を大切にしている。園内研修やカリキュラム研修、週案研修など、子どもについて語り合う機会が日常的に設けられており、研修で得た知識は報告書等を通して職員間で共有している。また、年に2回の不適切保育セルフチェックを実施し、保育者自身が子どもへの言動や関わりを振り返る仕組みを整えている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
Ⅳ－２－（３） 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	(a)・b・c
<p>良い点／工夫されている点：</p> <p>保育者は子ども一人ひとりの発達段階を丁寧に把握し、基本的な生活習慣が身に付くよう、その子に合った援助を心がけている。子どもが自ら取り組み、自然に習得していけることを大切にしており、無理に強制することなく、子どものペースに合わせた保育を実践している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

IV-2-(4) 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 登園後は、戸外で異年齢の子どもたちが一緒に好きな遊びにじっくり取り組む「とことん遊び」を実践している。保育者はその様子を保育業務支援システムで記録・振り返り、週案研修会や日々の情報交換を通して共有しながら、子どもの姿に応じて遊びの環境を柔軟に整えている。近隣には「水辺の楽校」や堤防など自然豊かな環境があり、散歩を通して交通ルールを学んだり、異年齢で自然に触れたりする時間も確保されている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(5) 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 特定の保育者との安定した愛着関係を大切にし、子ども一人ひとりに合わせた家庭的な保育を実践している。送迎時の会話や連絡帳、SNSシステムを通して保護者と連携し、得られた情報を必要に応じて個別の指導計画や関わり方に反映している。保育室には食事・おむつ替え・遊びのスペースを整え、子どもが快適に過ごせる環境を確保している。また、毎日の連絡帳を通して体調の変化や遊びの様子を家庭に伝えている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(6) 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 年間指導計画をもとにデイリープログラムや月案を作成し、生活空間を遊び・生活・午睡に区分することで、子どもが快適に過ごせる環境を整えている。3・4・5歳児の活動に触れ合う機会も設け、異年齢の関わりを体験できる場をつくっている。保育者は子ども一人ひとりの思いに寄り添い、主体性を育みながら丁寧に援助する姿勢を大切にしている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(7) 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 年度初めには、学級経営案に子どもの実態や願う姿、学級目標を明記し、子どもの育ちをどのように支えていくかを明確にしている。年間計画を基に作成した月案・週案・日案に沿って、子どもが主体的に遊びを展開できるよう、年齢に応じた環境づくりを工夫しているほか、友だちと協力して取り組める遊びや活動の場も整えている。また、保護者には「クラスだより」やドキュメンテーションを通して、保育の様子やその中で学びや育ちを伝えている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(8) 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 支援が必要な子どもには加配の保育者が配置させる等、安心して園生活を送れるよう丁寧に配慮されている。個別指導計画も作成され、子どもの姿や援助内容が記録されており、担任と加配保育者が連携して十分な情報共有と共通理解を図っている。また、必要に応じて保健センターや発達支援センターとも連携し、適切な支援につなげている。さらに、クラス研究会を通して保育者が障がい児保育への理解を深める機会も設けられている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

IV-2-(9) それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	㉠・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 長時間保育では、担当保育者が時間に合わせて勤務し、子どもがゆったりと過ごせる環境を整えている。未満児室と以上児室に分かれて実施し、丁寧に保育を行っている。引継ぎミスが生じないように、子どもの様子や連絡事項はクラスごとに色分けした連絡票に記入し、確実に保護者へ伝わる仕組みを整えている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-2-(10) 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	㉠・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 5歳児の園内研修会には小学校教員も参加し、園での子どもの様子を共有するなど、就学に向けた連携を図っている。園と小学校で作成した「幼小接続期マップ」は、保育要録の引継ぎ時にも双方で確認し合う機会となっている。また、全員が同じ小学校へ進学することから、2月の保護者説明会に合わせて「半日入学」を実施し、子どもたちが1年生の教室で交流する時間を設けている。</p>	
改善できる点/改善方法：	

### IV-3 健康管理

	第三者評価結果
IV-3-(1) 子どもの健康管理を適切に行っている。	㉠・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 健康管理に関するマニュアルを整備しており、体調に変化があった場合は園長へ報告したうえで速やかに保護者へ連絡し、夕方にはその後の様子を再度確認して記録に残すなど、丁寧に対応している。園でけががあった際には、状況や対応をヒヤリハットとして記録し、再発防止に努めている。また、各保育室には危険箇所を示したマップを掲示し、安全への意識を共有している。既往歴や持病のある子どもについては、年度初めの職員会で全職員に周知し、誰でも対応できるよう一覧を職員室に掲示している。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-3-(2) 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	㉠・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 健康診断で実施される内科・歯科健診の結果は、いずれも児童票に記録し、子どもの健康状態を継続的に把握できるよう管理している。医師から指導や受診の必要が示された場合には、速やかに保護者へ伝え、通院後の状況についても報告してもらうことで、園と家庭が連携しながら子どもの健康を見守る体制を整えている。</p>	
改善できる点/改善方法：	
IV-3-(3) アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	㉠・b・c
<p>良い点/工夫されている点： 入園時に食物アレルギーのある子どもについては、医師の診断書を提出してもらい、「食物アレルギー対応マニュアル」に基づいて面談を行いながら、医師の指示内容を丁寧に確認している。その後、市が作成する「アレルギー対応用献立表」を保護者に渡して確認してもらい、園では調理員と主任が毎月の献立をチェックする体制を整えている。食事の提供にあたっては、安全を第一に、アレルギー児専用の机と食器を使用し、誤食防止に十分配慮した環境で食事を進めている。</p>	

改善できる点/改善方法：

#### IV-4 食事

	第三者評価結果
IV-4- (1) 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	㉠・b・c
良い点/工夫されている点： 市の計画をもとに、主任が園の実態に合わせて食育計画を作成し、その計画に沿って5歳児は園内の畑で季節の野菜を育て、収穫する体験を通して食への関心や理解を深めている。また、子どもたちの希望に応じてクッキング活動も取り入れ、楽しみながら食に親しめる時間を大切にしている。食事の場面では、一人ひとりの食べられる量に配慮し、保育者と一緒に温かい雰囲気の中で食事ができるよう心がけている。さらに、毎月の献立表や食育だよりを保護者に配布し、保育参加では給食試食会を行う等、家庭との連携にも丁寧に取り組んでいる。降園時にはその日の給食を玄関に展示し、日々の食事内容が保護者に分かりやすく示されている。	
改善できる点/改善方法：	
IV-4- (2) 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	㉡・b・c
良い点/工夫されている点： 検食日誌には子どもたちの食べ具合や味付けの様子が記録され、月ごとに調理員や栄養士へ共有され、献立作成に活かされている。子どもたちの希望メニューや季節行事に合わせた行事食、旬の食材を取り入れた献立等、おいしく食べられる工夫も行われている。市の栄養士が来園して喫食の様子を観察したり、三大栄養素について分かりやすく伝える機会も設けられ、子どもたちへの食の安心感が育まれている。また、「衛生管理マニュアル」に基づき、給食提供の衛生管理が日常的に徹底されている。	
改善できる点/改善方法：	

#### 評価対象V 子育て支援

##### V-1 家庭との緊密な連携

	第三者評価結果
V-1- (1) 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	㉢・b・c
良い点/工夫されている点： 日々の子どもの様子を保護者と共有するため、未満児には連絡帳を通じて毎日情報交換を行い、全園児については保育業務支援ソフトを活用して写真や活動内容を日常的に発信している。年2回、個別懇談を実施し、園と家庭の様子を丁寧に確認し合うことで、子どもの育ちに対する共通理解を深めている。また、園だよりやクラスだよりを通して日々の活動を知らせるほか、保育参加や運動会等の行事には多くの保護者が参加しており、家庭と園が協力しながら子どもを支える体制が整えられている。	
改善できる点/改善方法：	

##### V-2 保護者等の支援

	第三者評価結果
V-2- (1) 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	㉣・b・c

<p>良い点／工夫されている点： 送迎時には園長と主任が門に立ち、子どもと保護者を温かく迎えている。日々の挨拶を通して保護者が相談しやすい環境が整えられており、寄せられた相談は園長から職員へ適切に共有され、保育の改善に活かされている。また、保護者から相談があった際には、保護者の都合に合わせて時間を調整する等して対応している。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	
<p>V-2-(2) 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。</p>	<p>○a・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： 園では「虐待対応マニュアル」を整備し、職員会で内容を共有しながら共通理解を深めている。虐待や権利侵害が疑われる場合には、園長への報告と職員間での情報共有を行い、市の子ども家庭課や相談員、保健センターへつなげられる体制を整えている。不適切な関わりに関する研修内容も職員間で共有されており、日頃から家庭の声に丁寧に耳を傾ける姿勢を大切にしている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

## 評価対象VI 保育の質の向上

### VI-1 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）

	<p>第三者評価結果</p>
<p>VI-1-(1) 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。</p>	<p>○a・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： 保育者は日誌や月案を通して日々の保育を振り返り、子どもたちの姿や関わりを見つめ直している。年度初めには一人ひとりが目標を立て、各期の振り返りや3月のカリキュラム研での成果・課題の整理を通して、自分の保育を振り返るとともに、年1回の自己評価にも取り組み、よりよい保育を目指して継続的に改善を重ねている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

## 評価対象VII 個別サービス評価基準（岐阜独自基準）

### VII-1 安全管理面でのサービス

	<p>第三者評価結果</p>
<p>VII-1-(1) 外部からの侵入に対する対応策がとられている。</p>	<p>○a・b・c</p>
<p>良い点／工夫されている点： こども家庭課・教育委員会・警察からの不審者情報がメールで共有され、園内で最新の安全情報を迅速に把握できる体制を整えている。また、隔月で「命を守る訓練」を実施し、不審者侵入を想定して、対応力の向上を図るとともに、各所防犯カメラの設置や、来訪者の確認を徹底することで、安全確保に努めている。</p>	
<p>改善できる点／改善方法：</p>	

### VII-2 保護者とのコミュニケーション

	<p>第三者評価結果</p>
<p>VII-2-(1) 保護者の保育参加を促すような工夫をしている。</p>	<p>○a・b・c</p>

良い点／工夫されている点：

年度当初に年間行事計画を保護者へ提示し、参加が必要な行事を分かりやすく知らせている。保育参加は年4回実施しており、給食試食会、親子で一緒に活動できる企画、親子観劇会等、保護者が参加しやすく家庭との連携が深まる内容で計画されている。

改善できる点／改善方法：

VII-2-(2) 保護者会組織等への活動の援助や意見交換を行っている。

(a)・b・c

良い点／工夫されている点：

保護者会の活動は園内で実施され、園長も出席して保護者との連携を図っている。行事の運営にあたっては、役員と連絡を取り合いながら計画を進め、保護者会の活動を支えている。また、母親学級が主催する行事については、企画段階での相談対応に加え、会場の確保や必要な用具の提供等、園として積極的に支援している。

改善できる点／改善方法：

### VII-3 保育所・幼稚園・小学校との連携

	第三者評価結果
VII-3-(1) 保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。	(a)・b・c
良い点／工夫されている点： 園では、小学一年生の教室での「半日入学」体験や、生活科の授業への招待等、小学校との交流を継続的に行っている。また、就学時の引継ぎにおいては「保育所保育要録」を用い、子どもの育ちや個別の配慮事項を小学校と共有している。こうした連携により、子どもがスムーズに学校生活へ移行できる体制が整えられている。	
改善できる点／改善方法：	